

令和4年度 豊橋市民センター  
指定管理事業報告書

特定非営利活動法人リシュ

## ◆指定管理業務名・目的

1. 業務名  
豊橋市民センター・市民活動プラザの管理運営業務
2. 事業の目的  
豊橋市民センター条例に基づいた市民活動団体の公益的な活動支援、事業計画書の運営方針、基本方針に基づき指定管理者として①～④に努める。
  - ① 市民活動経験者の増加
  - ② 市民活動情報の受発信拠点としての役割を果たす
  - ③ 「協働」の拠点としての位置づけを確立する
  - ④ 市民の側に立って行政や企業に伝える「かけはし」としての役割を果たす
3. 実施期間  
令和4年4月1日～令和5年3月31日

## ◆豊橋市民センター・市民活動プラザ

### 管理運営業務実施内容

#### 豊橋市民センター

1. 会議室の予約、利用許可、清掃業務  
予約管理システムの運用、利用許可証の発行・集金、利用データの入力・管理・会議室利用後の清掃等
2. 施設の維持管理  
施設や備品に関する点検・保全・在庫管理・施設の施錠・非常時の対応

#### 市民活動プラザ

1. 情報の収集・提供業務
  - 1 「どすごいネット」の管理運営、登録団体の入力作業、サイト利用操作方法の説明など
  - 2 豊橋市民活動プラザのHPの作成・維持管理
  - 3 メールマガジン及び情報誌等の発行
2. 活動場所の提供業務
  - 1 談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応
  - 2 印刷機器等設備の利用に関する事務
3. 意識啓発・普及業務
  - 1 意識啓発活動の実施
  - 2 啓発チラシパンフレット等の作成・更新
4. 人材育成・交流業務
  - 1 人材育成のための研修会を企画・運営（スキルアップ講座など）
  - 2 市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワークを構築
5. 相談・連絡調整業務
  - 1 市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能
  - 2 NPO法人認証取得のための相談への対応

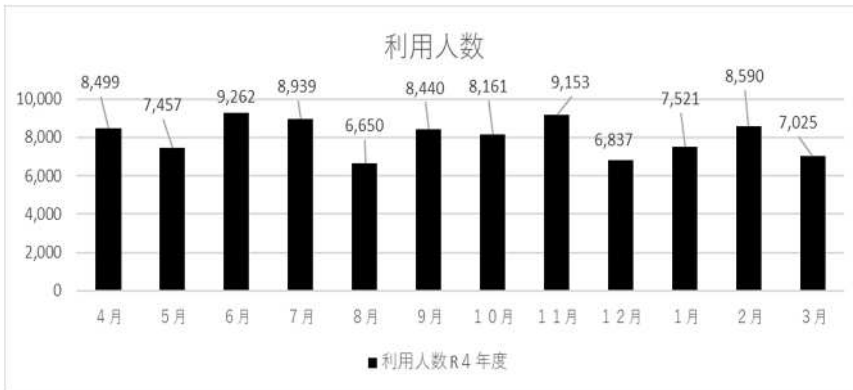
## ◆豊橋市民センター・市民活動プラザ

### 豊橋市民センター 利用率



引き続きコロナ禍ではあったが、リピーターが増え、一定の利用は安定してありました。コロナによるキャンセルは減少しました。

### 豊橋市民センター 利用人数



コロナ禍でありながら、感染防止に気をつけ、大人数での利用が増加し、大きい部屋の利用が増えました。イベントについても多項目において感染防止に配慮し、利用していただきました。

### 豊橋市民センター イベント

イベント名：カリオン春まつり（作品展＆音楽会＆文化体験）

日時：令和5年3月14日（火）～19日（日）

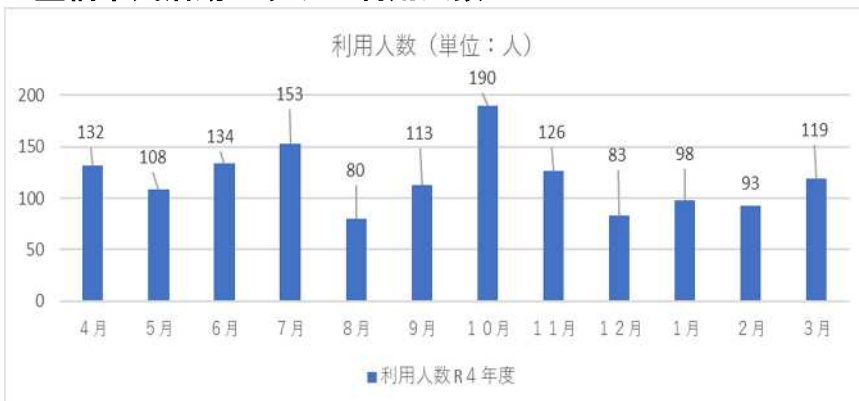
場所：豊橋市民センター・カリオンビル

作品展：大会議室 音楽体験 「ギターを弾こう会」の皆さんに依頼し、演奏会を開催

参加：入場者数：102人

コロナ禍でも、新たなセンター利用団体があり、参加団体は増えました。展示方法などを考慮し、見やすい空間とすることで、多くの市民に見ていただきました。また、今年も最終日にギターの会の演奏会を実施し、一緒に歌をうたうことで一体感が生まれ、和やかで楽しい時間となり、楽しかったと感想をいただきました。様々な利用団体が交流できる機会となり、今後も引き続き開催してほしいとの感想をいただいた。

### 豊橋市民活動プラザ 利用人数



コロナ前は、年間を通して活動を行い、加えて長期休暇などに合わせて事業を行うことが多かったが、コロナ後は、GW・お盆・年末年始など、子どもを含め、家族皆で過ごす時期の事業が少なくなり、よって利用も減っています。市民活動者の活動時間（日程）の選び方が変化してきたと感じます。

## 豊橋市民活動プラザ 相談件数



相談件数については、市内への一定周知があるようで、個人からの依頼が多くなりました。また、既にある団体への参加を考えている方も多くなりました。

ご高齢でも意欲のある方は多く、健康であるからこそ誰かの役に立ちたいと想いを話されました。

## 豊橋市民活動プラザ (どすごいネット) 登録団体数

令和4年度登録団体数 474団体

## ◆市民活動促進のための実施内容

### ハローボランティア事業

○秋のカリオン収穫祭・まちなかハロウィン共催

日 時：令和4年10月30日(日) 10:00~15:00

場 所：豊橋市民センター全館

内 容：市民センター職員手作りのスタンプラリーの実施

こども未来館のスタンプラリーも同時実施

オレンジフェスタとの同時開催

親子で団体ブースを回り、様々なボランティア団体と話す良い機会となりました。

参加者：2013名

### スキルアップ講座

#### 「ボランティア養成講座」

日 時：令和4年10月22日(土) 令和4年11月26日(土)

令和4年12月10日(土)

全3回 13:30~15:00

場 所：豊橋市民センター 4階 中会議室

内 容：「ボランティア養成講座」

「効果的なコミュニケーション」「傾聴トレーニング」「対立解消スキル」

わかりやすいと満足度は高く、再開催の依頼があった。

講 師：山口権治 氏 (元高校教諭・公認心理士・ピアサポートコーディネーター)

参加者：27名

#### 「パソコン講座」

日 時：令和4年4月2日・5月7日・6月4日・7月2日・8月6日・9月3日・10月1日・11月5日・12月3日・令和5年1月7日・2月4日・3月4日(全て第一土曜日) 13:30~15:00

場 所：豊橋市民センター 市民活動プラザ

内 容：オフィスサポート会長村松史子氏を講師に迎え、個々のレベル・ペースにあった指導を行いました。

参加者：49名

### 団体交流会

日 時：令和5年1月14日(土) 13:30~15:00

場 所：豊橋市民センター 4階 中会議室

内 容：「団体ワーク交流会」問題解決スキルをテーマに学び、各団体の実情を出し合い、意見交換をしました。団体内の意見の違いを団体の目的達成のためにどう調整していくのか、非常に充実したワークが行われました。正しく実践したいという参加者の意欲が感じられました。

参加者：18名

### オレンジフェスタ

日 時：令和4年10月30日（日）10：00～15：00

場 所：豊橋市民センター全館

内 容：今年度は、まちなか事業である「歩行者天国」、公園緑地課の「キッチンカー」、と連携し、加えて「ここにこ」とは例年通り連携し賑やかに実施致しました。市民センター2～4階はそれぞれの市民活動団体によるブースエリアとして、団体が、日頃の活動の様子をパネルや資料などで紹介しました。また団体によっては体験コーナーや相談コーナーも展開しました。まちなか事業やハロウィンとの共催であったので、スタンプラリーを楽しむ親子も多く来館し、団体コーナーで長時間にこやかに話し込む姿も見られました。高校生・大学生がボランティアとして多く参加していただきました。

参加者：2013名

### まちづくり講演会

日 時：令和4年10月30日（日）13：00～15：00  
13：30～15：00

場 所：豊橋市民センター 6階 多目的ホール

内 容：「衰退する地域、成長する地域を分ける、寛容性とウエルビーイング～なぜ経済が好調でも人口は流出するのか～」と題して、まちづくりのエキスパート一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事 木下 斉氏をお迎えして講演会を行いました。現在の地方都市が目指すまちづくりの方向性についてお話しいただき、後半には、市民活動の担い手に女性も多いことから、男女共同参画についても地元でご活躍の株式会社ビオック社長 村井裕一郎氏・まちなか図書館長 種田滯氏のお二人にパネリストとしてご登壇いただき、お考えをお聞きました。今回は、ZOOM 配信も行い、参加者の幅を広げることが出来ました。またこの折に、カリオンライブラリーの本を中心に実施している輪読会の皆さんに、今まで輪読会で取り上げた本についてご紹介いただいたコメントと共に、展示しました。

参加数：68名

### カリオンライブラリー

～まちづくりのための選書ライブラリー～

場 所：豊橋市民センター 2階市民活動プラザ

内 容：地域活性のプロが仲間とともに選書して下さった100冊を若者から高齢の方までの皆さんが気軽に立ち寄り、願うまちをつくり合うために活用していただけるライブラリーを目指して設置。選書は木下斉氏。100冊の地域課題解決へのヒントとなりえる本を展示し、市民の学びと交流の場になり得るようなライブラリーということが少しずつ周知され、一般市民の来館者も増えました。

### 「カリオンライブラリー」輪読会①

日 時：令和4年5月11日・7月13日・9月14日・11月9日・  
令和5年1月11日・3月8日  
18：30～21：00（ZOOMでも開催）

場 所：豊橋市民センター 6階多目的ホール・中会議室・小会議室

内 容：カリオンライブラリーにある本を使い輪読会を実施しました。

参加者：42名

## 「カリオンライブラリー」輪読会②

日時：令和4年5月20日・6月24日・7月22日・8月18日・9月16日・  
11月25日・令和5年1月20日・2月16日・3月16日  
場所：市民活動プラザ 2階 カリオンライブラリー  
内容：ライブラリーの本・関連選書による輪読会  
参加者：48名

## ◆情報の収集と提供

### 1. 情報誌「カリオンレポート」の発行

隔月発行：令和4年5月・7月・9月・11月・令和5年1月・3月 計6回

毎回登録450団体ほどに送付

開閉館情報と共に、講座、団体情報、イベント・助成金情報等について詳しく発信しました。

特に東日新聞のWAVE欄の紹介、カリオンライブラリーの本の紹介などを継続して掲載しました。

### 2. 市民活動プラザホームページ管理

施設の紹介・助成金情報・イベント紹介など様々な情報を発信している。「問い合わせ」欄を使ってメールでの問い合わせ、相談を受け付けました。

特に助成金情報は、常に最新の情報を掲示し、市民活動団体の方々に役立つ情報を発信。



### 3. facebook・ライン@・メール・インスタグラム配信の運用

さまざまなネットツールを使い、市民活動団体に役立つ情報を配信。

時代に合わせたツールを使うことで、若者の市民活動団体などにも響くように配信ツールを使い分け、スピード感をもって配信しました。

LINE・Facebookについては、情報の配信タイミングを逃さないように気をつけ、

メルマガには、センターが人を大切に思い運営していることを伝えるため絵本カフェを投稿していました。

インスタグラムのフォロワーも少しずつ増え、こまめに配信する成果が出てきています。

### 4. 東日新聞「WAVE」掲載・FMとよはし生出演

東日新聞と提携して、毎週土曜日の新聞に「WAVE」のコーナーで市民活動団体の紹介や、イベントの紹介を行いました。また生の声での発信の効果をねらい、毎週火曜日11時過ぎにFMとよはし「おれんじじゅうす」への出演も同時に依頼し、ボランティア情報の発信コーナーとして活用いただきました。今年度も掲載依頼が多くあり、広く有効な広報と認識されてきました。

### 5. 情報閲覧コーナーの活用促進

市民センター2階にある情報閲覧コーナーの情報を整理し、常に新しい情報の掲示に努めました。市民の方々やボランティア団体の方々が閲覧しやすいようにしたことで、2階利用時に自分の団体の情報をもっと加えたいという申し出がありました。また他団体の情報を見て、つながる団体がありました。ボランティア希望者がゆっくりと閲覧し、希望団体を決める一助となりました。

階段横の壁には、WAVE記事を見やすく掲示しました。

### 6. 東三河市民活動情報サイトの活用

どすごいネットを利用し、講座・セミナー助成金などの情報を発信しました。

## ◆施設管理に関する事項

### 1. 設備点検・修繕の記録

○点検実施、◎年次点検、▲修理

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 清掃業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 警備業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 冷暖房設備保守			○			○			○			○
4. テレビ共聴設備保守										◎		
5. 洋鐘保守					○						○	
6. 消防設備保守				○						○		
7. 電気工作物保安全管理	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
8. エレベーター保守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9. 受水槽清掃業務						○						
10. 廃棄物処理業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11. 公共建築物定期点検業務												◎

### 2. 防災・火災訓練

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 日常点検		○		○		○		○		○		○
2. 火災・地震訓練				○						○		

火災・地震訓練・・・各訓練ともスタッフ全員が参加。管財、点検業者と共に訓練実施しました。

## ◆令和4年度のまとめ

### 事業運営についての評価と反省点

#### 【豊橋市民センター】

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、会議室利用は伸び悩みました。今後どのように営業していくのか再考したいと思います。

基本的な会議室利用ルールの一貫については、全ての利用者がきちんとご理解いただいた上でルールを守り、快適に利用していただけることを目標にマニュアルを作り、研修し、職員はそれに基づいて丁寧な対応を心掛け、大きなトラブルなく運営できました。以前より懸案であった危険な窓の仕様も市が手すりを整備して下さり、安心利用に繋がりました。

会議室は、様々な方たちに利用され、特に企業は、遠方の会社からの利用も増えています。

施設管理の状況としては、便座の破損、水の流れの悪さ、トイレの手洗い水漏れなど、使用率の高いところから壊れているので順次対応しています。今年度も全ての階について洋式トイレへの変更要望が多くありましたが、現状すぐに取り換えられるはずもなく、洋式トイレの階を都度丁寧に職員が説明対応することで、ご理解いただいています。

環境整備では、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用後の清掃による除菌をしっかりと行いました。、毎月変わる緑の植木を2か所に配置も継続。明るくなった、キレイになった、緑や、トイレにお花を置いてくれて嬉しいなどと利用者から嬉しいお言葉をたくさんいただきました。また、外の景観も美しくするため、花壇の手入れをしました。これによりタバコのポイ捨てとゴミのポイ捨てが今年もほとんどありませんでした。ご近所の住民の皆さんが、きれいにしてくれて嬉しいと何度も声をかけて下さり、職員のやる気に繋がりました。

今年度は、念願の防犯カメラの設置に伴い、自転車の乗り捨てなどが無くなりました。

カフェは、コーヒーの味は美味しいと好評ですが、更に利用を増やすため、会議室利用者への広報を図りたいと思います。

## 【豊橋市民活動プラザ】

### ハローボランティア

ボランティア活動に触れてもらいボランティアへの興味を促すことが目的で行う事業です。新型コロナウイルス感染拡大防止に気をつけて、若い世代の親子に市民センターの事業について知っていただくきっかけづくりとしてオレンジフェスタに組み込み実施することにより、当初の目的も達成できました。

### スキルアップ講座

パソコン講座を定期的で開催し、且つ参加者の望むスキルを学べる講座として認知され、特に高齢者のリピーターが増え、活動の大きな一助となっていると考えられます。今年度も継続して多くの活動者に利用されました。

ボランティア養成講座は、団体内部の意思疎通やコミュニケーションの取り方などを学び、本来の団体目的を目指せる運営ができるよう支援する講座としました。参加者の満足度は高く、好評で、参加者同士のつながりも出来ました。

### カリオンライブラリー

輪読会が2グループあり、平日の夜間にそれぞれ開催しています。毎回まちを想う言葉が飛び交い、参加者一人一人が思いの丈を語り、豊かな時間を作り出しています。今年度は、ライブラリーの選書をされた木下氏の講演会に皆さん参加して下さい、また、活動紹介として、今まで輪読会で取り上げた本について担当を決め、本と共にコメントも展示しました。まちづくりを担う人材育成の場として、今後の発展が楽しみな活動です。

### \* 広報に関する取り組み

具 体 的 手 法	評価
ホームページ	A
Facebook	A
LINE	B
カリオンレポート	A
チラシ・ポスター配布	A
Instagram	A

### \* 施設利用の促進に対する取り組み

具 体 的 手 法	評価
電話問い合わせに対して丁寧な説明	A
次回の利用を促すよう、空き部屋情報を各団体来館時に紹介する	A
清掃をきちんとし、清潔感を感じられるようにした	A
コロナ禍における利用制限を明文化し、確認書を作り理解を得る	A
コロナ理由によるキャンセル、還付を利用者目線で対応	A

### \* 市民活動団体の育成・支援に対する取り組み

具 体 的 手 法	評価
相談事項に対して細やかな対応、連絡、紹介	A
市民団体の情報の整理と掲示	A
ハローボランティアへの講師依頼	A
NPO 法人、市民団体設立の相談事業	A
市民団体の広報に対する支援（FM とよはしと新規Instagram）	A



## 1年間を振り返り

コロナ禍の中、安心安全な環境整備に取り組みながら市民活動支援事業を進めてきました。広報事業として「FM とよはし」と「東日新聞の WAVE」を依頼するにあたり、担当者が丁寧な対応を心掛けたところ、団体担当者との信頼関係が少しずつ構築されたことは、大きな成果であると思います。それから今年度のオレンジフェスタは、様々なイベントと連携出来、スタンプラリーを楽しむ親子も多数来館し、団体と長時間にこやかに話し込む姿も見られました。多くの方に多様な市民活動を知っていただく機会となりました。また、喫緊の課題である「つなぐ」という意味においても、今回は、高校生・大学生がボランティアとして多人数参加していただけたことにより、活動の中心を担う高齢世代の方々からは、思いの一部が伝えられたと評価いただきました。オレンジフェスタ同日に開催した「まちづくり講演会」においては、地方における女性の参画についても取り上げ、地元活躍のパネリストを招き、木下氏と語り合っていましたので、参加者の皆さんは、出会いが生み出すパワーを実感されたのではないかと思います。今後も、より良い「機会」の提供と、的確な支援を行えるセンターを目指します。

収支計算書	収入の部		支出の部	
	指定管理料	27,780千円	指定管理事業費	38,689千円
利用料金収入	9,282千円			
自主事業収入	162千円			
その他収入	1,097千円			
		収支差額	-368千円	